

無差別・平等の医療と福祉
の実現をめざしています



船橋二和病院ホームページアドレス
<https://www.futawa-hp.jp>



船 橋 二 和 病 院
船橋二和病院健康友の会
〒274-0805
千葉県船橋市二和東5-1-1
TEL 047(448)7111(病院)
TEL 047(449)4417(健康友の会)
発行責任者 宮 野 暁
月一回発行 1部 50円

謹賀新年

本年もよろしく願い申し上げます



「まず診る、援助する、なんとかする」
という立場で経営改善をはたす年に



船橋二和病院

院長 宮原重佳

新年あけましておめでとう
ございます。

2024年は医療界にとつ
てたいへん厳しい一年となり
ました。船橋二和病院も例外
ではなく、経営状況の悪化の
ためにリニューアルプロジェ
クトを一時中止せざるを得ま
ませんでした。

民医連の原点である、困難
を抱えた人を「まず診る、援
助する、なんとかする」とい

う立場に立ち、地域の皆さま
の医療・介護要求にこたえるこ
とを一番の目標にすえ、職員
一丸となって経営改善に取り
組んでいるところです。

経営改善を果たし、念願の
リニューアルに取り組めるよ
う、友の会の皆さまのご協力
も得ながらこの課題に挑戦し
ていく所存です。

どうぞよろしく願いた
します。

いのちとくらし優先、1人ひとりが
大切にされる政治への転換を



船橋二和病院健康友の会

会長 浦卓夫

昨年の総選挙で「自公の多
数政治」が崩れました。自公
が「数の力」で強行する悪政
に対して、国民がストップを
かけたからでした。しかし、
これからどうなるかはまだま
だ不透明です。

むしろこれからが大事なの
ではないでしょうか。声を上
げれば悪政に穴をあけること
が出来ることを実感できたの

ですから、ひきつづき声をあ
げていきましょう。

戦争準備を止め平和の外交
を！、誰もが安心できるくら
しの向上を！、福祉・医療の
充実を！、などを求めて職員
と協力し楽しく活動しまし
ょう。

本年もよろしく願いた
します。

10月・11月は友の会強化月間！ 仲間を増やし、安心して住み続けられるまちづくりを進めよう！！

健康チェック・ウォーキングなど27の企画を実施 11月

地区名	開催日	企画内容	参加人数
松が丘地区	11/1	インターバル速歩	11 人
保健活動部	11/5	保健大学第 1 講座	21 人
丸山地区	11/6	丸山地区高齢者訪問行動日	9 人
丸山地区	11/8	丸山地区高齢者訪問行動日	7 人
御滝地区	//	『いつでも元気』読者会	10 人
習志野台地区	11/9	青空市での健康チェック	35 人
高根台地区	//	高根台地区福祉フェスティバル	38 人
二和地区	11/11	二和地区高齢者訪問行動日	6 人
二宮・三田地区	11/12	健康講座「尿漏れについてと予防体操（実技）」	10 人
二和地区	//	二和地区高齢者訪問行動日	7 人
平和部	11/16	平和学習会（日本平和大会オンライン参加）	11 人
法典地区	11/17	古民家でバーベキュー	15 人
保健活動部	11/19	保健大学第 2 講座	31 人
御滝地区	//	クリスマスツリーのオーナメントづくり ①	6 人
西・高・芝地区	//	健康チェック	16 人
鎌ヶ谷西地区	11/20	『別冊いつでも元気・レッツ体操』を使って体操	16 人
八木が谷地区	//	健康チェック	19 人
大穴・三咲地区	11/26	健康チェック	22 人
法典地区	//	ペン字教室	21 人
御滝地区	//	書道を楽しむ会	4 人
八木が谷地区	11/27	『いつでも元気』読者会	10 人
習志野台地区	11/28	協力者との交流会	9 人
二和地区	//	健康チェック ②	48 人
丸山地区	11/29	丸山地区高齢者訪問行動日	8 人
印西地区	//	「北総花の丘公園」紅葉散策	10 人
鎌ヶ谷東地区	//	市川市自然動植物園へ紅葉を見に行く	10 人

「拡大強化期間」（10・11月）の到達点
各地で多彩なとりくみを展開

活動内容	開催地区数	参加者数
健康づくり・ウォーキング	9	117
体力・健康チェック	6	223
健康講座・学習会	9	211
親睦・交流活動	3	32
趣味・特技	6	73
「いつでも元気」読者会	4	37
高齢者訪問活動	5	37
平和・社会保障を守る活動	1	11
オレンジカフェ	1	13
合計	44	754
第 36 回 健康まつり		2,000
「友の会くらしのアンケート」 4 3 9 件回答 ※概要は「ふれあい」 2 月号に掲載予定		



第41回
保健大学がスタート

11月から第41回保健大学が全8講座でスタートしました。

昨年度受講生が10人と少なかったですが、今年度は26人。認知症について学びたかったという方も多く申し込みまわっています。

第1講座は、入学式に続いて、二和病院・宮原重佳院長より「船橋二和病院の歴史と医療活動」経営改善から二和病院リニューアルへ」と題した講演を、第2講座は、二和病院栄養科の佐藤管理栄養士を講師に「フレイル予防の食事とは」の講義と調理実習をおこないました。

る。誰でも認知症や介護者になり得る時代だからこそ、家族だけが抱え込むことなく、地域・社会全体で支え合えるよう、正しい理解が必要である」というお話から始まり、認知症の基礎知識についてお話しいただきました。

① 認知症の基礎知識

認知症は、脳神経のはたらきが低下し、日常生活や社会生活で何らかの支援が必要になった状態のこと。認知症の原因となる病気の種類や段階により症状が異なる。

薬物療法と非薬物療法を組み合わせて、進行速度を遅らせることができるように努めている。

軽度の段階で診断を受けることで、薬の効果も活かし、進行を遅らせ、安全な暮らしの準備ができる。

何をしたら認知症の予防に役立つかは、まだ4割くらいしか分かっていないが、WHO(世界保健機構)では「認知機能低下を予防できる対策」として12項目を挙げており、生活習慣の改善や基礎疾患の管理だけでなく、聴力、こころの健康の維持や社会活動への参加も含まれている等。

② 地域・社会全体で支え合うには

冒頭で話された「地域・社会全体で支え合う」に関しては、令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基

本法（以下認知症基本法）の紹介も含め、わかりやすく解説。

認知症は進行することで徐々に暮らしの中で変化が出てくるが、できないこと（中核症状）に対して、責められたり適切な理解と支援が得られないことで、不安や興奮、妄想などの様々な心理・行動障害につながる。そのことを理解し、その人の持っている能力、希望に配慮した環境調整や対応、支援の仕方が大切。

老化現象も含めて、できなくなったことをお互いに許容し合い、助け合いながら、誰もが自分らしく希望をもって生活できる地域・社会づくりを、国民一人ひとりが「じぶんごと」として取り組んでいく必要があるとのことでした。

③ 早期の相談や受診が大切
まずはかかりつけ医に相談を

早期に相談や受診をすることで正しい理解や知識に触れる機会ができ、また、その人に残っている能力に合わせて適切に環境を整えることで、自分らしく生活する準備や相談ができるので、まずはかかりつけ医に相談することから始めましょうと話されました。



第3講座は公開講座も実施12月3日（火）には、第3講座に併せて公開講座「認知症についての基礎知識」を、二和病院精神科の戸田医師を講師に迎えて開催しました。保健大学受講生24人を含めて総勢91人が参加。今までにない申込みの数に認知症に対する関心の高さがうかがえました。

講義は、「加齢とともに認知症になりやすく、平均寿命が長い日本においては認知症の方の割合が高くな